

**令和2年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「身体障害者のための医療・リハビリテーション機材整備計画」
機材供与式典**

2022年8月24日、日本政府の草の根人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施された「身体障害者のための医療・リハビリテーション機材整備計画」の機材供与式典が実施され、嶋崎駐ヨルダン大使が出席しました。

本計画は、2004年の設立以来、様々な障害を持った方々（難民を含む）を対象に、国内唯一の無償リハビリテーション・サービスをヨルダン各地で提供してきた実績のある「アワー・レディ・オブ・ピース障害者センター（OLOPC）」に対して、医療・リハビリテーション機材を配備することにより、ヨルダン人貧困層や難民等の脆弱な人々に対する障がい者支援サービスの質の向上、更には、将来的な社会参加や自立の促進を目的とするものです。

同式典には、団体職員・関係者のほか、マウロ・ラリ・在ヨルダンローマ法王庁大使館臨時代理大使、同団体に出資しているラテン・エルサレム総司教区庁・ヨルダン教区のジャマール・ハデル司教らが出席され、シャウキー・バトリアン団体事務局長からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。嶋崎大使からは、本支援が団体の障がい者に対するリハビリテーション・サービスの一助となり、障がいを持つ人々の健康増進及び生活状況の改善に資することを期待する旨述べました。

日本政府は、1993年以降、草の根・人間の安全保障無償資金協力により、ヨルダン国内のNGO、学校、病院及び地方自治体に対して、累計153件、総額1,000万ドル以上の支援を行っています。

<p>障がい者センター利用者による出迎え</p> 	<p>嶋崎大使のスピーチ</p> 
<p>障がい者センターの視察</p> 	<p>式典出席者との記念撮影</p> 